

投資事業評価調書(新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川 昌一 (尾崎 幸忠)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	億円
		通常砂防事業 梅木谷川	神戸市垂水区 塩屋町		約2.2
所在地				着工予定年度	完成予定年度
神戸市 垂水区 梅木谷				H13年度	H16年度

事業目的	事業内容
<p>土石流災害対策</p> <p>・土石流危険渓流に該当しており、平成11年6月29日の集中豪雨では土砂流出があった。応急対策は実施されたが、今後も土砂災害の危険性は高く、対策ダムを設置して地域住民の多くの人命・財産を保全する。</p>	<p>・ダム工 2基 (H=11.5m, L=50m) (H=6.0m, L=45m)</p>

評価視点	
(1)必要性 安全・安心	<p>・梅木谷川は土石流危険渓流である。</p> <p>・平成11年6月29日の集中豪雨で土砂流出があり、今後も土砂流出の危険性が高いが、砂防設備は未設置である。</p> <p>・保全対象:人家=100戸、公共施設=市道</p>
地域の活性化	<p>・砂防ダム工事により土砂災害が軽減され、下流域の有効な土地利用が図れるようになる。</p>
快適性・ゆとり	<p>・ダム設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより生態系の破壊を軽減する。</p>
その他	<p>・県に対して地元から事業化への要望が強い。</p>
(2)有効性・効率性 有効性	<p>・人命及び財産(人家100戸)が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。</p>
効率性	<p>・地元では、土砂災害に対する認識度が高く、要望が非常に強い。</p>
(3)環境適合性	<p>・六甲山系グリーンベルトエリアに隣接していることもあり、事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、ダム工に加えて良好な樹林帯の形成を図るなど環境保全、創出に努める。</p>
(4)優先性	<p>・平成11年6月29日の集中豪雨によって土砂流出が発生しており、応急対策は実施されたが、流域の荒廃は激しく、土砂災害の危険性は高い状態である。</p> <p>・土石流の被害想定区域には、企業の社宅はじめ人家が100戸あり、2基のダム工を一連で施行し、梅木谷地区の抜本的な土砂災害対策が早急に必要である。</p>

評価の結果	着手妥当	左の理由
		審査の結果、事業着手が妥当と認められた。